

会 議 録

会議の名称	第 1 9 期第 4 回企画実行委員会
事務局	公民館 本町分館
開催日時	平成 1 8 年 1 2 月 5 日（火） 午前 9 時 3 0 分～
開催場所	公民館 本町分館
出席者	企画実行委員 中村、金子、萩原、苅込
	職 員 鈴木主査、木村副主査、
傍聴の可否	㊦、 一部不可、 不可
傍聴者数	0 人
傍聴不可等理由等	
会議次第	下段の通り
会議結果	
発言内容・発言者名 （主な発言要旨等）	別紙
提出資料	なし
会議次第	1 事業の計画、実施、報告 （1）市民講座「バードウォッチング入門講座」 （2）高齢者学級「生きがい広場」 2 その他 （1）第 4 4 回東京都公民館研究大会の報告について （2）平成 1 9 年度の事業計画について

司 会 萩原委員 傍聴者 0 人。

【発言内容】

木 村 会議に入る前に、議題（１）の高齢者学級については現在集約しているところですので次回委員会に報告させていただきます。

鈴 木 資料として１８年度の日程表を添付してありますので、参考にしてください。
なお、雨天のため中止となった「グランド・ゴルフ」及び好評だった「市長と話そう」は来年度も予定したいと思っております。

司 会 次に市民講座「バードウォッチング入門」について説明願います。

鈴 木 この講座は佐々木が担当していますが、本日欠席のため私が説明いたします。
内容についてはポスター（案）のとおりです。

萩 原 定員を３０人でなく２０人としたのは講師の都合でしょうか。

鈴 木 前回の講座でも講師より要望されておりまして、受講者から説明が聞き取れない、よく見えない等の苦情もあり、説明が必要となる野外での講座は２０人が限度と考えています。

今回はバードウォッチングということで、大きな声を出しても支障があると考え、２０人としたものです。メガフォン等は他人に迷惑がかかり使用することができません。

中 村 カメラは持参可能なかどうか。

鈴 木 講師と相談したいと思います。

司 会 次に第４４回東京都公民館研究大会について説明をお願いします。

鈴 木 大変寒い中、本当に委員の皆さんご苦勞様でした。

特に交通部の委員の方は朝早くから寒かったことと思います。ありがとうございました。無事終了できたことにお礼申し上げます。

運営した中でお気付きになられたことがありましたら、今後の教訓といたしますので、ご意見をいただきたいと思います。

現在、事務局において参加者等の集計をしておりますが、はっきりした数字は出ておりません。おそらく、参加市は２０市、参加人数は３５０人ぐらいかと思っています。

荻 込 私は第5課題別集會に参加しましたが、非常に勉強になりました。

参加してよかったと思います。

それから、どこの市かわかりませんが、弁当は各自持参ということで理解して
いて、弁当注文は知らなかったらしいです。

市事務局と連絡をきちんとしたほうがよいと思います。

徹底されていなかったと思います。中には無料で支給されると思っていた人もい
ました。稲城市、西東京市、東村山市等・・・？

鈴 木 弁当については、会場付近にはコンビニ等ありませんので、企画委員会委員の
要望により大会事務局で用意することとなり、各市へその申込書を送付して集約
していますが、各市の判断となっています。

また、当日に第3課題別集會会場が変更になりました。会場の決定についても
できるなら一会場で実施したいのですが、場所がなかったのも、このように二会
場となりました。

参加者からも、駅から第二中学校までもう少し近いと思った等いろいろな意見
をいただきました。今後の課題として受け止めたいと思います。

萩 原 3年後に小金井市が、また当番市となると聞きましたが、南口駅前再開発で市
民交流センターの完成時に合わせて、小金井市で開催したほうがよいのではない
でしょうか？

施設がこのような状況なので、何年か待ってもらえるよう提案したらどうでし
ょうか？

鈴 木 そのような声を多くの方々から聞きます。

できるならば、そのようになればと思います。

30数年ぶりの当番が、また3年後というのは大変です。

司 会 次に平成19年度の事業計画についてお願いします。

鈴 木 講座担当委員は平成18年度担当委員で引き続きお願いしたいと思います。

配布資料の「主催事業予定表」に基づき、策定していきたいと思っています。

予算も平成18年度とほぼ同様に要求しています。事業によっては準備会を設
け、多くの方々の意見、要望を参考にし、決定するものもあります。

本来、企画実行委員は市民であり、その職務も企画、運営に携わることとなっ
ていますので、すべての事業に準備会を設ける必要はないと思っています。

委員の皆さんのご協力により事務局と共に市民の要望する講座等を考えてい
きたいと思いますので、次回平成19年1月16日（火）の企画実行委員会に多
くの事業案を提出していただけたらと思います。

荏 込 事業を決定する上で、タイトルを検討すべきです。

また、そのアピール方法も考えていかなければ多くの参加者は望めないと思います。

中 村 市民の中でどのようなニーズがあるか、事前調査が必要だと思います。

現場の生の声を聞くのもよい。

団塊世代の地域での受け入れも来年度から始まります。

仕事だけをしてきたこの世代が急に家にいるようになった時、どのようなことが必要なのか、考えねばなりません。

オセロゲーム・麻雀教室など入りやすいのかなと思います。

萩 原 会社人間は仕事のことしか知らない。

この人たちが地域の人間となるわけです。

こんな言葉があります。「年をとればとるほど今日用（^{きょうよう}教養）が必要」何か自分のできることを見つけたらよいのではと思います。

中 村 男性だけの井戸端会議の場も必要です。

趣味を持たない人への対策など。

中 村 ○○の初心者教室というのは、本当に初めての人は少ない。

本当にゼロからスタートするという人のための講座も必要ではないでしょうか。

司 会 いろいろな意見が出ていますが委員の方は次回までにそれぞれの事業案を考えてきてほしいと思います。

次回は第1火曜日が1月2日となるため、1月16日(火)に開催いたします。

司会は古川委員となります。本日はご苦勞様でした。

終了 11時30分